

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2023年 第21週（5月22日～5月28日）

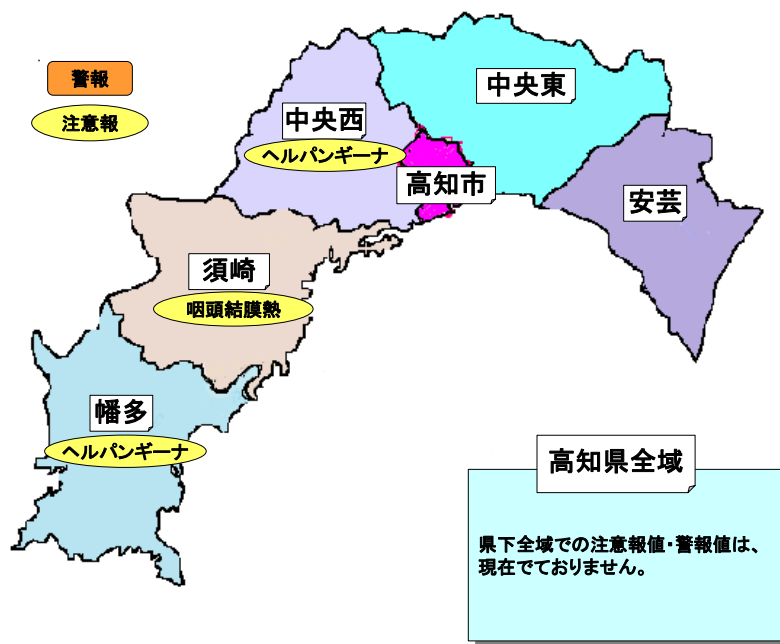
## ★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増    ↑：増加    →：横ばい    ↓：減少    ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	3.85	須崎で急減、中央東で減少していますが、幡多、中央西で急増、安芸で増加しています。
インフルエンザ	↑	2.07	幡多で減少していますが、県全域、中央西、安芸、中央東、須崎で急増しています。
新型コロナウイルス感染症	→	1.80	須崎、中央東で減少していますが、安芸、中央西で急増、幡多で増加しています。
ヘルパンギーナ	→	1.62	中央西で急増、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	1.04	須崎で急増、県全域、幡多、高知市で増加しています。

## ★地域別感染症発生状況



## 【感染症予防の基本】

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？

- 1) 石けんを泡立て、手のひらをよくこすります
- 2) 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- 3) 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいます
- 4) 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ  
タオルの共有は避けましょう



## ★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

### ○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）

主な症状は発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状であり、頭痛、下痢、味覚障害、嗅覚障害を呈する場合もあります。

感染者の口や鼻から、咳、くしゃみ、会話等のときに排出される、ウイルスを含む飛沫又はエアロゾルと呼ばれる更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸入するか、感染者の目や鼻、口に直接的に接触することにより感染します。特に密閉・密集・密接（三密）の空間では感染が拡大するリスクが高くなります。自らの感染を防ぐだけでなく、他人に感染させないように「感染予防の基本」をしっかりと実行しましょう。

新型コロナウイルス感染症（高知県特設サイト）：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

#### ●定点医療機関からの報告数

	新規感染者数	定点当たり感染者数
第19週 5/8～5/14	56	1.27
第20週 5/15～5/21	75	1.70
第21週 5/22～5/28	79	1.80

・新型コロナウイルス感染症定点医療機関数：44

・新型コロナウイルス感染症の届出基準：発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を有する者について分離・同定による病原体の検出、病原体遺伝子の検出、抗原定性検査・抗原定量検査による抗原の検出などの検査方法により新型コロナウイルス感染症と診断した場合。

又は発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む）を呈する者であって新型コロナウイルス感染症であることが確定した者と同居している者であり医師が総合的に診断した場合。

#### ●その他の情報

	重症者数 (28日時点)	新規 入院者数	入院患者数 (28日時点)	検査数	備考
第19週 5/8～5/14	0	8	17	1,438	
第20週 5/15～5/21	0	6	10	1,936	
第21週 5/22～5/28	2	10	17	2,458	

「検査数」は外来対応医療機関で実施したPCRおよび抗原検査数です。

5月30日 10時時点で集計していますので、国の公表数と異なる場合があります。

#### <予防方法>

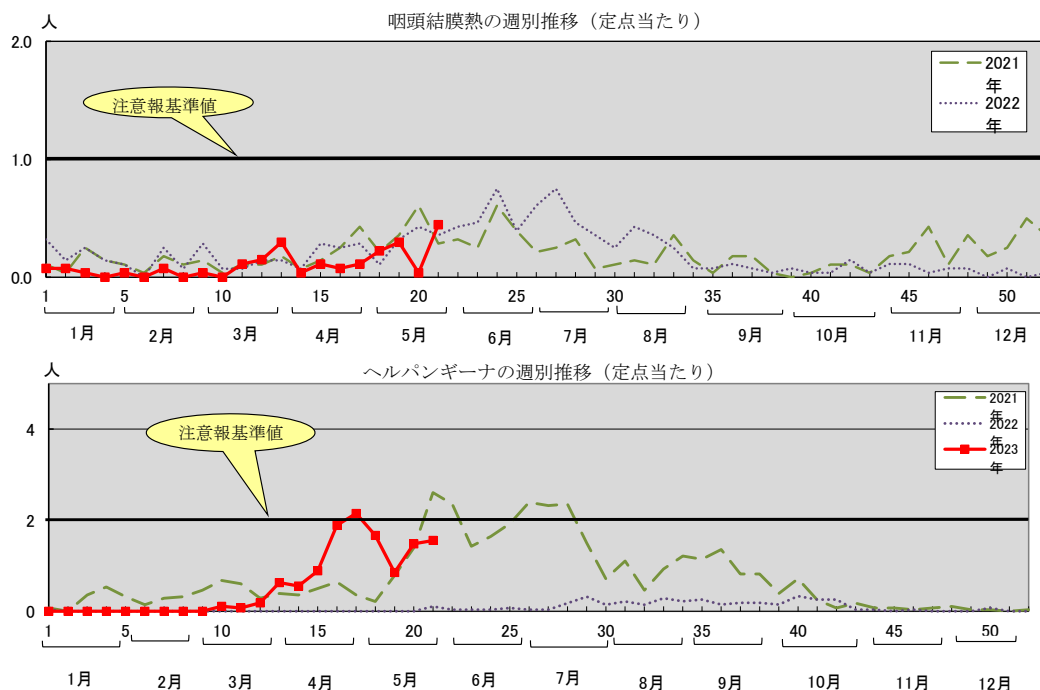
- ・手洗い消毒は感染予防に特に有効です。
- ・「三密」の回避と家やオフィスなどの換気を十分にしましょう。

### ○夏型感染症（咽頭結膜熱・ヘルパンギーナ・手足口病）

夏型感染症は、例年、6月頃から5歳以下の乳幼児を中心に報告数が増えはじめ、7～8月頃にピークとなります。例年の流行期より早いですが、特に咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの報告数が増加傾向となっており、注意報値を超えている地域もあるので注意してください。

咽頭結膜熱は、発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とする急性のウイルス感染症です。潜伏期は5～7日で、小児特に5歳以下に多く、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

ヘルパンギーナは、経口・接触感染、咳やくしゃみによる飛沫感染で感染します。手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。



### <予防方法>

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等の共用、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後の手洗いを徹底しましょう。

#### 【学校感染症】

**ヘルパンギーナ**：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

**咽頭結膜熱**：学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「主要症状が消失した後2日を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

## ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院で受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

#### 【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合や、動物との接触後体に不調を感じたら、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニ等に咬まれたこと）、動物との接触状況等を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

### ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	21	40 歳代 女性	高知市
		1		80 歳代 男性	
		1		90 歳代 男性	中央西
5 類	梅 毒	1	30	70 歳代 男性	高知市
	百日咳	1	2	0~4 歳 男性	
		2		0~4 歳 男性	

### ★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
21	ヘルパンギーナ	40℃	1	女	須崎	Adenovirus 2
21	-	39℃,上気道炎,発疹	1	男	幡多	Cytomegalovirus Adenovirus 5
21	ヘルパンギーナ	40℃	1	女	須崎	Coxsackievirus A2
21	不明発疹症	41℃,下痢,咳嗽,発疹,鼻汁	8か月	男	須崎	Rhinovirus
21	ウイルス性肺炎	39℃,咳嗽,肺炎	4か月	男	幡多	Rhinovirus

### ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	おひさまこどもクリニック	インフルエンザ A 型が管内小学校 5 年生で流行
	高知大学医学部付属病院小児科	パラインフルエンザ 3 ウイルス感染症 1 例（1 か月男）
	早明浦病院小児科	1~2 歳児の嘔吐下痢発熱増加（便培養検査中）
	JA 高知病院小児科	アデノウイルス 1 例
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 1 例（10 歳男：ワクチン未接種）
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 2 例（1 歳、4 歳） 病原性大腸菌 O27 腸炎（ベロ毒素陰性）1 例（10 歳） カンピロバクター 1 例（15 歳） インフルエンザ A 型 9 例 COVID-19 2 例（5 歳、30 歳代：別世帯）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 10 例 ヘルパンギーナ 9 例 RS ウイルス 1 例
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例（1 歳男）
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 2 例（6 歳、9 歳） COVID-19 2 例（7 歳、10 歳） 前週：カンピロバクター腸炎 1 例（6 歳男）
幡 多	こいけクリニック	ロタウイルス胃腸炎 7 例 （1 歳男、1 歳女 2 人、2 歳男女、3 歳男、4 歳男） ノロウイルス胃腸炎 2 例（9 か月男、1 歳女）

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは 2023 年 5 月 29 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

# ★高知県感染症情報

## 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第21週 令和5年5月22日(月)～令和5年5月28日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	地域別						計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計)		全国(20週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R5/1/2～R5/5/28	R5/1/2～R5/5/21	
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	11	22	32	12	8	6	91 ( 2.07 )	43 ( 0.98 )	9,275 ( 1.89 )	4,842 ( 110.05 )	674,523 ( 136.76 )	
	新型コロナウイルス感染症	11	8	36	8	4	12	79 ( 1.80 )	75 ( 1.70 )	17,489 ( 3.56 )	210 ( 4.77 )	30,435 ( 6.17 )	
小児科 (26)	咽頭結膜熱		2	3	1	3	3	12 ( 0.46 )	1 ( 0.04 )	1,414 ( 0.45 )	60 ( 2.31 )	12,635 ( 4.02 )	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			13		4	10	27 ( 1.04 )	17 ( 0.65 )	4,197 ( 1.34 )	173 ( 6.65 )	35,446 ( 11.28 )	
	感染性胃腸炎	3	14	31	6	1	45	100 ( 3.85 )	90 ( 3.46 )	20,488 ( 6.54 )	2,433 ( 93.58 )	350,631 ( 111.56 )	
	水痘							( )	4 ( 0.15 )	327 ( 0.10 )	35 ( 1.35 )	4,974 ( 1.58 )	
	手足口病		1	1				2 ( 0.08 )	1 ( 0.04 )	791 ( 0.25 )	110 ( 4.23 )	7,216 ( 2.30 )	
	伝染性紅斑							( )	2 ( 0.08 )	45 ( 0.01 )	11 ( 0.42 )	628 ( 0.20 )	
	突発性発疹		5	6		1		12 ( 0.46 )	14 ( 0.54 )	1,025 ( 0.33 )	143 ( 5.50 )	15,411 ( 4.90 )	
	ヘルパンギーナ		4	17	6	3	12	42 ( 1.62 )	40 ( 1.54 )	2,276 ( 0.73 )	325 ( 12.50 )	9,121 ( 2.90 )	
	流行性耳下腺炎			1				1 ( 0.04 )	1 ( 0.04 )	184 ( 0.06 )	6 ( 0.23 )	1,947 ( 0.62 )	
	RSウイルス感染症		1	14	1		1	17 ( 0.65 )	27 ( 1.04 )	4,888 ( 1.56 )	230 ( 8.85 )	35,666 ( 11.35 )	
眼科(3)	急性出血性結膜炎							( )	( )	10 ( 0.01 )	( )	140 ( 0.20 )	
	流行性角結膜炎							( )	( )	249 ( 0.36 )	4 ( 1.33 )	3,224 ( 4.65 )	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							( )	1 ( 0.13 )	4 ( 0.01 )	3 ( 0.38 )	138 ( 0.29 )	
	無菌性髄膜炎							( )	( )	9 ( 0.02 )	( )	185 ( 0.39 )	
	マイコプラズマ肺炎							( )	( )	38 ( 0.08 )	12 ( 1.50 )	246 ( 0.51 )	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	1 ( )	( )	9 ( 0.02 )	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	( )	4 ( 0.01 )	6 ( 0.75 )	84 ( 0.18 )	
計 (小児科定点当たり人数)	25 ( 7.00 )	57 ( 7.50 )	154 ( 14.41 )	34 ( 12.00 )	24 ( 9.00 )	89 ( 16.45 )	383 ( 12.07 )			62,714	8,603 ( 250.44 )	1,182,659	
前週 (小児科定点当たり人数)	9 ( 3.00 )	52 ( 7.81 )	157 ( 14.60 )	12 ( 5.00 )	18 ( 7.25 )	68 ( 12.18 )		316 ( 10.26 )					

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関)定点当たり人数

第21週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	地域別						計	前週	全国(20週)	高知県(21週末累計)		全国(20週末累計)
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				R5/1/2～R5/5/28	R5/1/2～R5/5/21	
インフルエンザ COVID-19(4)	インフルエンザ	2.75	2.20	2.29	3.00	2.00	0.75	2.07	0.98	1.89	110.05	136.76	
	新型コロナウイルス感染症	2.75	0.80	2.57	2.00	1.00	1.50	1.80	1.70	3.56	4.77	6.17	
小児科 (26)	咽頭結膜熱		0.33	0.33	0.50	1.50	0.60	0.46	0.04	0.45	2.31	4.02	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.44		2.00	2.00	1.04	0.65	1.34	6.65	11.28	
	感染性胃腸炎	1.50	2.33	3.44	3.00	0.50	9.00	3.85	3.46	6.54	93.58	111.56	
	水痘								0.15	0.10	1.35	1.58	
	手足口病		0.17	0.11				0.08	0.04	0.25	4.23	2.30	
	伝染性紅斑								0.08	0.01	0.42	0.20	
	突発性発疹		0.83	0.67		0.50		0.46	0.54	0.33	5.50	4.90	
	ヘルパンギーナ		0.67	1.89	3.00	1.50	2.40	1.62	1.54	0.73	12.50	2.90	
	流行性耳下腺炎			0.11				0.04	0.04	0.06	0.23	0.62	
	RSウイルス感染症		0.17	1.56	0.50		0.20	0.65	1.04	1.56	8.85	11.35	
眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.01		0.20	
	流行性角結膜炎									0.36	1.33	4.65	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎								0.13	0.01	0.38	0.29	
	無菌性髄膜炎									0.02		0.39	
	マイコプラズマ肺炎									0.08	1.50	0.51	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.02	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	0.75	0.18	
計 (小児科定点当たり人数)	7.00	7.50	14.41	12.00	9.00	16.45	12.07			250.44			
前週 (小児科定点当たり人数)	3.00	7.81	14.60	5.00	7.25	12.18		10.26					



# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2023年 第21週)

